

なでしこ

東京都杉並区立大宮中学校 学校だより

令和4年9月12日 第5号(19-58)

発行責任者: 校長 関田 誠

『大宮中精神: 優しさをもって、夢や目標に挑戦する若者であれ!』

8/29始業式式辞

『頭も心も整理整頓の二学期』の話

皆さんの夏休みは、一学期の終業式にお願いしていた『成長』と『探究』の43日間になりましたか? 今日からの二学期、勉強と部活や習い事を文武両道です。加えて10月は音楽発表会がありますね。二年間でできなかった学校行事です。仲間とのつながりを大切に、絆を深めながら、全員で作り上げましょう。『イツツ唱タ〜イム!』にしましょう! 今からとても楽しみです。一方で、今朝は何人かコロナ陽性で欠席があります。仕方のないことですが、校内活動だけでなく、近々修学旅行や職場体験学習が始まります。各自あるいは各学級で健康管理の意識を維持していきましょう。

今朝は二学期を迎えるに当たり、新聞で目にしたプロバスケットボール選手の話を行います。Rさんという女子プロバスケの選手は、母校の講演会に招かれます。その学校の生徒に対して、二つのことを強調していました。一つは挨拶です。「バスケットに限らず、人と人とのコミュニケーションはとっても大切で、その基本となるのが挨拶なの。だから気持ちの良い挨拶のできる人になってください」。しめた! これは大宮中の皆さんは大丈夫です。私がいつも話している通り、皆さんの挨拶は一級品、地域の評判は高いです。

もう一つは、「休みに日には何をしていますか?」という質問に対する答えです。「私はプロだから、部屋の掃除をしています」というものでした。

(え? プロだから部屋の掃除? どういうこと?) と思いますよね。「親元を離れての長い合宿生活からの経験ですが、部屋の汚い子はミスが多いんですよ。部屋が汚いということは、必要な物とそうでない物の優先順位が付けられないということですよね。バスケットは一瞬で状況を判断するスポーツだから、部屋を掃除することも大切な練習の一つなんです」という回答でした。

なるほど、これはバスケットに限りません。中学生の勉強、部活や習い事や大人の仕事に当てはめると、こんな感じでしょうか。

『やるべきことはたくさんあるが、それを横にダラっと並べているから能率が悪かったりミスをする。「横」ではなく「縦」に並べる。あとは大事な順に上から順番にやっつける。』 まあ、言葉で言うと簡単で、実際にやるのはなかなか難しいですが、部屋(あるいは机)の掃除というものが、自分の頭の中の整頓につながり、学習や部活、習い事の効率化にも影響があるのです。

皆さん、今日から始まる二学期、学校では教室も家では身の回りも整理整頓して、頭も心もスッキリした生活を送ることを心掛けてください。それが結果的にコロナ禍への対策にもつながると思います。『部屋の掃除も大事な練習』しみる言葉ですね。

皆さんがわくわくする二学期にすることを、先生方も応援しています。😊



by 燈子

三年生は修学旅行が終わり、定期考査前、そしてこれから受験モード本番ですね。入試では小論文を課す高校があります。自分の考えを文章にまとめることは、普段から文章を書く訓練をしていないと難しいものです。

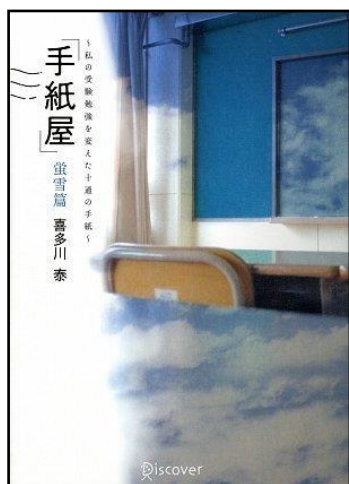
例えば、お題として《『人間が生きていくために必要なこと』について自分の考えを述べよ。》が与えられたとします。大宮中の生徒の皆さんなら、どんなことを思い浮かべますか？突然ですが、まわりの人と一分間意見交換してみましょう。（一分間経過） 色々な意見が出ましたか？もちろん『人間が生きていくために必要なこと』について、これという決定版の正解はありません。参考に、以前勤めていた学校で、三年生の生徒が書いた小論文を紹介します。

人間が生きていくために何が必要だろうか。食料、住む場所、お金、人権……。挙げたらきりが無い程たくさん出てくると思う。そして、多分出てくる全てのものが生きていくために必要なもので、ただ一つの正解などないのだと思う。その中で、私が一つ必要なものを挙げるとすれば、それは「勉強すること」だ。

勉強とは何のためにするのか。大人はよく「自分のため」「将来のため」という言葉を使って私たちに勉強するように言う。そして私たちは「テストで良い点を取るため」「受験に合格するため」に勉強している。しかし、私は『手紙屋』という本に出会って考え方が変わった。その本には、勉強は自分以外の人を幸せにするためにするものだとして書いてあった。例えば、自分が勉強して得た知識で地球温暖化を止める技術を開発すれば、たくさんの人を幸せにできる。授業で習った知識を使って人命救助をしたという話も聞いたことがある。「人は一人では生きていけない」という先人の言葉に基づけば、誰かの幸せのために勉強することは、助け合って生きていく人間社会において必要なことではないだろうか。

『手紙屋』という本には、次のようなことも書いてあった。「嫌々やる勉強は何の役にも立たない。（勉強をしたい！）と心から思ったとき、君は勉強という道具を正しく使うことができる」と。一人ひとりが勉強することで人間は助け合い、支え合って生きていける。人間が生きていくために、勉強は必要なことであると私は思う。

（三年生生徒小論文より）



この小論文を書いた人は、自分なりに勉強する目的を探しあてました。ヒントになったのが、この『手紙屋』という本です。本校でも二年前の朝礼で紹介しました。3年生は、毎日頑張っている勉強、1・2年生は今の授業・家庭学習に、そして来週ある定期考査にと、たくさんの時間を捧げて、本当に何のためにやっているのか？目的が分からずやる勉強と、〇〇のためにやっているんだ、と目的が明確な勉強、どっちがいい？という話です。この本には『何のために勉強しなければならないの？』と聞かれたら、これという一つの答えが書かれています。200頁ほどで3時間もあれば読める本です。図書室にも置いてありますので、定期考査が終わったら、ぜひ手に取って読んでみてください。嫌々やっている勉強が、『自分のために』という視点から、『他人のために』という視点に変わること、新しい発見があると書かれています。もしかしたら、今、皆さんの多くは、霧の中で、勉強という海を漂う一そうの舟かもしれません。自分という舟の舵を操作するために、霧の中で行き先を定めるコンパスをゲットすることを勧めます。😊

3年生は修学旅行が終わりました。全校生徒の皆さんは、今、第二回定期考査直前です。そんな皆さんに、ひとつ真面目な質問をします。『何のために勉強しているのか正直分からない人?』怖れずに手を挙げてください。はい、ありがとう。

それでは、今朝はこのことを考えるために、こんなお題《『人間が生きていくために必要なこと』について自分の考えを述べよ。》と一緒に考えましょう。皆さんなら、どんなことを思い浮かべますか?突然ですが、まわりの人と一分間意見交換してみましよう。(一分間経過)色々な意見が出ましたか?もちろん『人間が生きていくために必要なこと』について、これという決定版の正解はありません。参考に、以前勤めていた学校で、三年生の生徒が書いた小論文を紹介します。

人間が生きていくために何が必要だろうか。食料、住む場所、お金、人権……。挙げたらきりが無い程たくさん出てくると思う。そして、多分出てくる全てのものが生きていくために必要なもので、ただ一つの正解などないのだと思う。その中で、私が一つ必要なものを挙げるとすれば、それは「勉強すること」だ。

勉強とは何のためにするのか。大人はよく「自分のため」「将来のため」という言葉を使って私たちに勉強するように言う。そして私たちは「テストで良い点を取るため」「受験に合格するため」に勉強している。しかし、私は『手紙屋』という本に出会って考え方が変わった。その本には、勉強は自分以外の人を幸せにするためにするものだとして書いてあった。例えば、自分が勉強して得た知識で地球温暖化を止める技術を開発すれば、たくさんの人を幸せにできる。授業で習った知識を使って人命救助をしたという話も聞いたことがある。「人は一人では生きていけない」という先人の言葉に基づけば、誰かの幸せのために勉強することは、助け合って生きていく人間社会において必要なことではないだろうか。

『手紙屋』という本には、次のようなことも書いてあった。「嫌々やる勉強は何の役にも立たない。(勉強をしたい!)と心から思ったとき、君は勉強という道具を正しく使うことができる」と。一人ひとりが勉強することで人間は助け合い、支え合って生きていける。人間が生きていくために、勉強は必要なことである、と私は思う。

(三年生生徒小論文より)



私の受験勉強を支えた十通の手紙
手紙屋
童雪篇 喜多川 泰

この小論文を書いた人は、自分なりに勉強する目的を探し当てました。ヒントになったのが、この『手紙屋』という本です。本校でも二年前の朝礼で紹介しました。3年生は、毎日頑張っている勉強、1・2年生は今の授業・家庭学習に、そして来週の定期考査にと、たくさんの時間を捧げて、本当に何のためにやっているのか?目的が分からずやる勉強と、〇〇のためにやっているんだ、と目的が明確な勉強、どっちがいい?という話です。この本には『何のために勉強しなければならないの?』と聞かれたら、これという一つの答えが書かれています。勉強が大嫌いな女子高校生が主人公の話です。200頁ほどで3時間もあれば読める本です。図書室にも置いてありますので、定期考査が終わったら、ぜひ手に取って読んでみてください。嫌々やっている勉強が、『自分のために』という視点から、『他人のために』という視点に変わることで、新しい発見があると書かれています。もしかしたら、今、皆さんの多くは、霧の中で勉強という海を漂う—その舟かもしれませぬ。自分という舟の舵かじを操作するために、行き先を定める優れたコンパスをゲットすることを勧めます。そのために、この秋は読書の秋にしたいですね。😊

8/29始業式式辞『夢をかなえるゾウ』の話

～二学期に変わりたい！目標や夢をつかみたい君へ～

皆さんの夏休みは、一学期の終業式にお願いしていた『成長』と『探究』の43日間になりましたか？今日からの二学期、勉強と部活や習い事を文武両道です。加えて10月は音楽発表会がありますね。二大行事でありながら、二年間でできなかった学校行事です。仲間とのつながりを大切に、絆を深めながら、全員でつくり上げましょう。『イツツ唱タ～イム！』にしましょう！今からとても楽しみです。

さて二学期を始めるにあたり、今朝は一冊の本を紹介します。『夢をかなえるゾウ』。ミリオンセラー本です。読んだことある人は？著者の水野啓也さんは、（夢があるのに叶えられていない人に勇気を与えたい）という想いで書き上げたそうです。主人公は、ドラえもんののび太のように、何をやっても三日坊主の二十代の青年。ある日（自分を変えたい）と思い立ちインド旅行をします。帰国後、会社の仕事で一流の実業家の誕生日パーティーに参加します。自分よりはるかに大きな仕事をしている同世代の若者の姿を見て、（自分はまったく相手にされていない）と、存在を否定されたように落ち込みます。その夜帰宅して、インド旅行で買ってきたゾウの神様の置物に「今度こそ変わりたい！自分も成功したい！」と泣きながらすがります。翌朝起きると、ゾウのような神様『ガネーシャ』がデーンと枕元において、関西弁をしゃべるガネーシャとの奇妙な共同生活が始まります。

ガネーシャは人生を成功させるための課題を、毎日主人公に出します。その課題をひとつずつ克服しながら、主人公が夢を叶えようと成長していく姿が描かれます。ガネーシャの課題は一見簡単なものです。★靴をみがき大切にする。★トイレを掃除する。★明日の準備をする。★毎朝自分の全身を鏡で見て、身なりを整える等ですが、その理由を知りたい人は本を読んでください。ここではみなさんが二学期からの夢や目標をつかむヒントになる、2つの課題を紹介します。

★一日何かをやめてみる。一日頑張れた自分をホメる・・・人間の持ち時間は限られている。何かを始めたいと思ったら、先に何かやめる必要がある。やめるためには「ゲームを押入れにしまう、家に帰ったら携帯の電源を切る」等の環境をつくる必要がある。そして、寝る前に毎日頑張れたことを思い出して自分をホメて、頑張ることの「楽しさ」を自分に教える。DOノートのほめポイントですね。

★やらずに後悔していることを今日から始める。試験や資格に挑戦する・・・失敗することを恐れてやりたいことをやれないことが多い。やりたいことに挑戦する。自分の才能を見つけるために、試験や資格に積極的に挑戦する。

みなさんに役立つことがありますか？特に3年生の諸君。びっくりするくらい忙しい二学期になると思います。覚悟はいいですか？授業、学校行事、そして進路選択。皆さんの高い自覚と1、2年生を引っ張るリーダーシップが頼りです。またこれから本番の『受験』は、個人戦の側面と、学級・学年で挑む団体戦の両面があります。よい雰囲気づくりを！1・2年生も3年生の姿勢を見ながら、一緒に大宮中生全員で二学期も目

標や夢への挑戦で前進しましょう。

授業ぶらっと訪問⑳

7月5日(火) ③ 2B 音楽 遠藤先生

「みなさん ごきげんよう～」から始まります。導入は発声練習。遠藤先生がひとフレーズ、その後生徒がそのフレーズを声出しします。「校歌」「区歌」に続き、昨年の課題曲「変わらないもの」。歌付きの動画に合わせて、少しずつ声が出てアップ終了です。

今日のメインは『野菜の気持ち』。何それ??最初



にチラッと動画を観ます。ステージで5人組が何か一定のリズムを取りながら、色々な言葉を叫んでいます。観衆から笑いが出ます。これは何??どうやらバリ島のケチャのようなことをやろうとしているみたい。私も興味が湧いてきます。遠藤先生「今日は完成よ」と宣言。サッと生徒はチームに分かれて練習開始。シイタケ?バナナ?ポンカン?ピーナッツ?キャベツ?役の6~7人で、ベースの「ピーナ



ッツ…」に乗せて、楽譜のそれぞれのタイミングで「ポンカン!」「バナナ!」とか叫びます。足底を叩いたり、体や腕を揺すってリズムを取りながら、グループで一つの曲を作っています。言葉に強弱をつけるのが難しそうですが、それぞれのチームが曲を表現しようとしています。歌ではなく言葉を使ったリズムアンサンブルの授業です。コロナ禍で歌いづらい時の教材として遠藤先生が取り組ませています。クラスの雰囲気良く、皆とって楽しそうです。10分間練習した後、全チーム一緒に通してみます。その後、遠藤先生「皆さん、クレシェンドだけでなくデクレシェンドに気づいていますか?大きく叫んだり、スンとする(音を落とす)とか強弱記号に、もっと注目しよう」と、練習を見ていて気付いたことを解説します。曲の強弱を強く意識するのは、二期の合唱にも良い効果がありそうです。その後、再度チーム練習に戻ります。皆、一層やる気になっています。狂ったように(?)4チームが声を出して、足を踏んで、腕を振り、肩を揺すって練習に没頭しています。何これ?すごい。一種陶酔感が湧いてきそうです。一見の価値ありです。各チームタブレットで動画を録って探求できると、更にすごいことになるなと思いました。次回は発表会だそうです。楽しみです。「お店でお客さんに手に取って〜とか、収穫される野菜の気持ちとか場面設定すると表現が深まるね」という遠藤先生の言葉で終わりました。

7月1日(金)③ 3A保体 渡辺先生

この夏、初めての水泳の授業です。生徒は準備体操から入ります。杉並区は二人の監視員を置いて、事故対策をしています。今日は快晴。水温は32℃です。まず水に入って1往復歩行。次は軽くジャンプを入れて歩行。水に慣れる動作です。次は水に浮きます。まずうつぶせで。「足が下がる〜」という生徒の声に、渡辺先生は「どうしたら足が浮かないか考えて試そう」。次は仰向け。二人一組で腰を支えることで、平らに浮きます。「体の力を抜いて!」と渡辺先生が繰り返し伝えます。三年生の声も弾んできます。次は沈む。渡辺先生がやってみせます。うつぶせで浮かんだ状態で息を吐きだしていくと段々沈みます。次は二人一組で一人が脚を開いて立って、もう一人がその脚の間を潜ってくる。生徒はできるかな?という表情でトライしています。次は水中でその場で前方回転。更に後方回転。「どうしたら鼻に水が入らないか考えてやろう」と話します。ここまで30分間。「あと10分あるから泳ごう」で縦方向に泳ぎに入ります。渡辺先生が泳ぐときの注意点を2つ押さえます。「力を抜く」「鼻から息を吐く」生徒はクロールで泳ぎ始めます。力が抜けていい泳ぎの生徒が多いようです。「途中で脚をついた生徒は、フィンを使って」という指示で、フィンを使う生徒

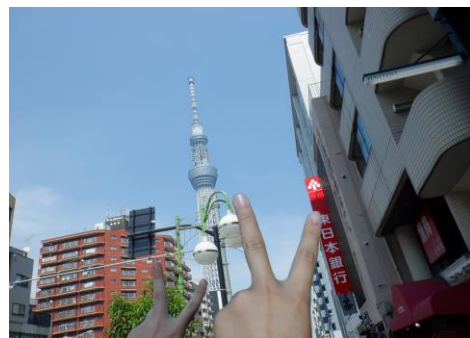
もいます。フィンを使うとスピードが段違いに速い。水に乗ります。プールサイドで立ってフィンを着けようとしている生徒に、すかさず「危ないからフィンは水の中で着けよう」という指示が飛びます。途中渡辺先生もフィンを着けて泳いで見せます。プールサイドで見えても、汗が噴き出してきました。私の近くで、見学の女子が一人います。日陰でバケツに足入れて、水で冷やしています。よく見ると涙が出ているようです。驚いて「どうしたの」と聞いてみると、「何か皆が楽しそうに泳いでいるので、今日泳げない自分が悲しくなって…」という言葉が。予想していなかったので、キュンとしてしまいました。私「早く泳げるといいね」。集中して8分ほど泳いで時間になり、整理体操をして終了しました。

6

30

都内巡り(2年)

今回の2年生校外学習は、都内巡りでした。行程は、大きく分けて2つです。午前中は、東京駅の団体集合場所(来年の修学旅行の集合場所)からスタートして、班ごとにロイロノートに送られてきたミッション(都内の観光名所の写真)に行き、写真を送信するというミッションをこなしながら、都内の観光名所を巡りました。



この日はかなりの酷暑で、熱中症が心配されましたが、各自が熱中症対策を工夫し、最後まで元気にミッションに取り組むことができました。

昼食も事前に班で考え、東京の名物を堪能している班が多く見受けられました。

午後は、東京の伝統工芸を伝承する職場を訪問しました。どの事業者の方も歴史・文化について学び、働く喜び、働く苦勞を聴き、起業家教育の観点から、他



者と協働しながら新しい価値を創造する力を付けるきっかけになったことと思います。今回の校外学習で事



前に生徒に対して示していた目的の一つは、公共のマナーを学ぶことです。公共のマナーの中には「挨拶」をきちんとすることも含まれます。訪問先では「こんにちは」「お願いします。」「ありがとうございました。」等をしっかりと言い、二学期に取り組む職場体験に繋がれたらと思います。最終のチェック場所である新宿駅での生徒たちの顔は、すべてをやり遂げた、すがすがしい顔をしていて、朝、東京駅で見た顔よりも一回り、大人になったように感じられました。(沼田茂雄副校長)

7 5

小学生授業部活動見学

大宮小、済美小の6年生を招待して、大宮中学校の見学会を実施しました。



5時間目は各学級での授業を見学してもらいました。6時間目は部活動の時間を設定して、小学生には自分の興味のある部活動をそれぞれ自由に見学してもらいました。小学生は来年進学することになるかもしれない中学校の様子を、熱心に見ていました。大宮中にどのような感想をもったでしょうか。少し気になります。たくさん入学してくれると嬉しいです。

【学びの教室】

令和5年度4月入室募集

特別支援教室の来年度の募集が始まっています。詳細を詳しくお知りになり

R4 一学期の部活動の活躍

バスケットボール

- 杉並区バスケットボール春季大会
 - 男子3位
 - 女子2回戦
- 夏季選手権大会
 - 男子ベスト8
 - 女子2回戦

サッカー

新人戦に向けて、日々練習しています。

ソフトテニス

- 杉並区中学校ソフトテニス
 - 総合体育大会・個人戦 出場
 - 〃 ・女子団体戦 5位
- ・団体戦メンバー
 - 3年…青木香乃葉、北村優衣
白鳥碧彩、中村すずな
麻生穂華、佐藤愛莉
 - 2年…景田結心、折橋菜々

卓球

- 研修大会
 - 男子団体A 準優勝
 - 男子団体B ベスト8
 - 女子団体 準優勝
- 杉並区選手権大会
 - 男子団体戦 優勝
- 杉並区選手権大会
 - 男子個人戦 3位 野村直宏
 - ベスト8 若井大成
 - 女子個人戦 ベスト16 酒井 杏

ベスト16 茂木橙子
第75回 東京都中学校卓球選手権大会
男子団体戦 出場 男子個人戦 出場
女子個人戦 出場

スポーツチャンバラ

ボランティア参加

杉並区スポレクふれあい祭り
リンクくになち
昇段審査 3年生4名初段合格
9月4日 全日本大会参加予定

ボランティア

- ・ポスター作り
- ・中庭の雑草除去
- ・手話（50音、挨拶等）・モールス信号
- ・掃除の手伝い

自然科学

スライム作製に取り組みました。
夏休み中には「杉並子どもサイエンス・グランプリ」参加に向けて、1,2年生が各自で調べ学習や自由研究を行います。

美術

生徒会からの依頼でSDGsに関連するポスターを作成し、校内に掲示しました。

軽音楽部

延期していた部内発表会を、7月7日（木）、12日（火）に行うことができました。
新曲の譜読みも開始することができたので、新たなバンドメンバーと共に練習を重ねていきます。

フレンドクラブ

フライングディスクやランニング、アイロンビーズなどの活動に取り組んでいます。

陸上（個人参加）

地域別陸上競技大会

田窪壮汰

1年男子100m 13" 36

東京都総合体育大会陸上競技

一兜咲子

2・3年女子800m 2' 25"

川口礼央

2・3年男子1500m 4' 44"

共通男子3000m 10' 24"

二人とも上位大会である通信陸上競技大会に出場予定。

夏休みもコロナや熱中症に気を付けて、飛躍の夏にしようね！

by なでたろう

